

働くことの意味 ～夏休み登校日 学校長の話から～

【8月17日（木）登校日。全校集会での学校長の話から抜粋】

夏休みが始まってもうすぐ30日が経過します。生徒のみんなが事故に遭った、ケガをした、問題行動があったという報告はありません。きっと良い夏休みを送っていることと安心しています。

3年生は、9月16日から就職試験が始まります。就職試験を受験する企業を先生と相談したり、企業見学の申し込みをしたり、面接練習をするために、夏休み中もたくさんの3年生が登校していました。3年生だけではなく、2年生、1年生も「働く」ということについて考える機会をぜひ持ってほしいと思います。

ところで、そもそも人は何のために働くのだと思いますか。生きていくため？ 何もせずいたら暇だから？ 生活のため？ お金のため？ 確かに生活するにはお金が必要ですが、働くのは単にお金のためだけなのでしょうか。

夏休み中に、働くことの意味について書かれた本を読みました。その内容を少し紹介します。その本には、「人は幸せになるために働く」のだと書かれていました。

人が幸せだと感じることとして、4つの項目が紹介されています。「人に愛されること」「人にほめられること」「人の役に立つこと」「人から必要とされること」の4つです。

人に愛されて、人にほめられて、人の役に立って、人から必要とされるのが、「究極の幸せ」だということです。

そして、「人に愛されること」以外は、全て働くことによって得られる。だから、人は幸せになるために働くのであり、働くことで幸せになれるとその人は書いていました。それがとても印象的でした。

今日、家に帰ったら、お家の人と「何のために働くのか」を話してみてください。どんな答えが返ってくるのでしょうか？

夏休みは、まだあと14日あります。安全で、健全で、楽しい、そして有意義な夏休みにしてほしいと思います。9月1日の始業式に全員が元気に登校するのを楽しみにしています。

（校長 高橋信之）